

## 高齢者虐待防止について

## I 山口県における養介護施設従事者等による虐待の状況

受理した虐待事例の通報（届出）件数（うち虐待判断件数）（平成29年度）

	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
件数	今後公表(7)	13(3)	15(4)	20(2)	15(0)

※すべて市町が受理

うち、市町が事実確認調査を行った結果、虐待の事実が認められた7件の状況

区分	1件目	2件目	3件目
被虐待者の状況	女性 85～89歳 要介護5 認知症有	女性 90～94歳 要介護3 認知症有	女性 75～79歳 要介護5 認知症有
虐待の類型	身体的虐待	身体的虐待	心理的虐待
施設等の種別類型	有料老人ホーム	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設
虐待者の職種	介護職員	介護職員	介護職員
4件目	5件目	6件目	7件目
女性 80～84歳 要介護5 認知症有	男性 80～84歳 要介護3	男性 95～99歳 要介護5 認知症有	女性 70～74歳 要介護1 認知症有
身体的虐待	心理的虐待	身体的虐待	心理的虐待
地域密着型介護老人福祉施設	有料老人ホーム	認知症対応型共同生活介護	養護老人ホーム
介護職員	介護職員	介護職員	介護職員

## II 高齢者虐待防止に向けて（高齢者虐待防止法の規定による）

## (1) 養介護施設設置者又は養介護事業を行う者

- 高齢者虐待防止に関する定期的な研修を開催する
- 高齢者及び家族からの苦情処理の体制を整備する
- 職員のストレス対策等その他必要な措置を講じる

## (2) 養介護施設従事者等

- 虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合は、速やかに市町高齢者虐待対応窓口へ通報する  
→通報を受けた市町は、事実確認調査を行い、老人福祉法又は介護保険法の規定による権限を適切に行使する

## (3) 県

- 必要な場合市町と連携し事実確認調査を行い、老人福祉法又は介護保険法の規定による権限を適切に行使する
- 養介護施設従事者等による高齢者虐待の状況について公表する  
→公表項目（被虐待者の状況、虐待の類型、虐待があった養介護施設等の種別、虐待を行った養介護施設従事者等の職種等）
- 虐待防止や認知症ケアに関する研修を実施する  
→認知症介護基礎研修、認知症介護実践研修（実践者、実践リーダー）等において、養介護施設従事者等として必要な虐待防止や権利擁護に関する知識を付与

### Ⅲ 虐待防止に向けた主な取組事例について（平成30年度実地指導等から）

- ◆ 虐待を他施設の出来事と捉えずに、自分の施設でも起こりうるという認識のもと、防止に向けた取組を行っていくことが不可欠
- ◆ 施設等において、職員の資質、役職員の意識を高め、利用者の状況に応じた適切なサービスを提供することが重要
- ◆ 相談窓口の周知など苦情処理体制を充実させ、施設等におけるチェック機能を向上させることも必要
- ◆ 虐待や不適切なケア防ぐためには認知症ケアの向上が不可欠

#### ○虐待防止に向けた取組事例

##### 理念の共有等

- ・朝のミーティングや引継時に法人の理念を唱和している。
- ・高齢者虐待防止のポスターを目に付きやすい場所に掲示している。

##### 組織の健全化

- ・職員の不適切な言動に遭遇した場合は、互いに注意し合うようにしている。
- ・家族との面会の機会を多く設けたり、外部からボランティア等を受け入れることにより透明性を図っている。
- ・同一法人内の他の介護保険施設等を見学することにより、多様な視点を養う。
- ・入室や退室する際の挨拶や笑顔を徹底している。

##### 職員の負担やストレス軽減

- ・定期的な面談やセルフチェックの実施により、不満やストレスの把握に努めている。
- ・日頃から上司や先輩に当たる職員が積極的に声を掛け、悩みを聞けるような職場環境の整備に努めている。
- ・職員に対してストレスマネジメント研修やアンガーマネジメント研修を実施している。
- ・職員が業務に追われ不適切なケアを行うことがないように、シフト配置に心掛けている。
- ・職員のストレス軽減のため、長期休暇の取得を推進している。

##### リスク管理

- ・利用者からのサインを見逃さないよう、心身の変化・会話・体調・交流の変化等をよく見るようにしている。
- ・送迎時など職員は出来る限り家族とのコミュニケーションをとるようにしている。
- ・排泄や入浴時には、皮膚の状態を確認し、内出血等を発見した際は、記録を残し原因の確認を行っている。
- ・密室化の防止に心掛けている。

##### サービスの質の確保

- ・職員研修において、就業中の言動、特に利用者の呼び方に気を付けるなどの注意喚起を行っている。「禁句集」を作成し、各職員へ配布している。
- ・虐待のニュースや本の特集などコピーし、各自が目を通すことができるようにしている。
- ・「虐待の芽チェックリスト」を職員全員に実施し、その結果を勉強会で取り上げている。
- ・良い対応、良い接遇をしている職員を手本にしている。